

2023 年度 工学院大学学科連合委員会 方針

工学院大学学科連合委員会



委員長 森田 遼太郎



1. 組織構成

工学院大学学科連合委員会は新宿キャンパスに本部、八王子キャンパスに支部を置いて活動している。今年度は、3年生7人、2年生22人の合計29人に1年生を加えた人数で構成されている。そして、会計局、渉内局、渉外局、企画局、広報局、資材局、オリター・アンケート局の7つの局に配属して活動を行う。

2. 方針

工学院大学学科連合委員会は下記の目的を達成するため、支部本部関係なく、本会委員それぞれが持つ考えを受け入れ、尊重し合いながら活動を行う。

3. 目的

工学院大学学科連合委員会は、各学科の学生からの要望を集め、各団体や本学に反映させ、本会の企画や活動を通して学生間の交流を促し、知識・見聞を深めさせることで本学学生の学生生活を改善することを目的とし、活動を行う。また、学園の広報並びに本学の発展に寄与することも目的とする。

4. 活動内容

A) アンケート活動

アンケート活動は本学学生の要望を集めるものであり、本会の目的を達成するために実施すべき活動である。八王子、新宿の両キャンパスで本学学生、学園祭の来場者を対象とした様々なアンケートを実施する。各企画では実施前に事前・直前アンケート、実施後に事後アンケートを必要に応じて実施する。事前アンケートは各企画実施前に需要を調査することを目的として行い、本学学生の要望を反映できるように質問を並べる。直前アンケートでは、各企画参加者の情報を集めることを目的として行い、各企画の運営が円滑に進められるような質問を並べる。事後アンケートでは、各企画に関する意見を参加者の視点から頂くことを目的として行い、各企画の満足度や委員の対応に関する評価に関する質問を並べる。また、アンケート結果の一部を他団体内にも共有を行い、本学の発展に貢献する。

B) 前期企画

八王子、新宿の両キャンパスで、学生間の交流を促し、今後の学生生活の改善と向上を目的として行う。八王子キャンパスでは、運動のできるスペースを用いてスポーツ大会を行う。共に体を動かすことで団結力、協調性を高め、参加者同士の交流の促進を図る。新宿キャンパスでは、掲示板を用いた企画を行う。本学学生が抱える悩みや不安を共有できるような場を提供し、交友関係の拡大を図る。

C) 後期企画

八王子キャンパスのみで行う。既知や未知問わず多くの学生に楽しい時間を過ごしてもらうことを目的とし、今年度も八王子キャンパス食堂を使用してビンゴ企画を運営する。ビンゴ企画中にゲームを取り入れることで、参加者の満足度の向上並びに参加者同士の交流の促進を図る。また、昨年度同様にテーマを設定する。テーマに沿った装飾、演出、衣装を施すことで食堂にてひとつの世界観を表現し、参加者全員が楽しめる企画を作り上げる。

D) 大抽選会

新宿祭にて行う。来場者に新宿祭に対してのアンケートに回答して頂き、抽選で御礼品として協賛品または景品をお渡しする。より多くの方に回答して頂くため、対面形式だけでなく、ウェブ上でも実施する。得られたアンケート結果を本会だけでなく他団体にも共有を行い、来年度以降の本会並びに学園祭の発展に貢献する。

E) 学園祭への参加

プレ八王子祭、八王子祭、新宿祭に参加する。ステージ企画、模擬店、教室展示で参加をし、テーマに沿ったものを作り上げ学園祭の活性化に貢献すると共に、運営に協力をする。また、来場者に対してアンケートを実施し、学園祭の満足度並びに改善点を明確化し、来年度以降の学園祭の発展に寄与する。

F) 他大学との交流

本会の渉外局を主体して他大学との交流を行う。委員会が存在する他大学との交流を通して多種多様な価値観や視点を本会の活動に反映させることにより、本会の活動の質向上に努め、本会の目的を達成する。今年度も本部、支部の両方での他大学との交流を計画している。企画内や学園祭だけでなく、交流会などにも意欲的に参加をし、他大学との交流や意見交換をする場を設ける。そこで、本学にはない特色等を習得することで更なる本学への発展や広報活動へと繋がる。また、今年度も他大学の学園祭案内に参加することで他大学の活動をより間近に体験し、本学並びに本会に反映を行う。